



管内経済情勢報告（令和6年7月）

総括判断



持ち直しのテンポが緩やかになっている

（9期ぶり下方修正）

個人消費



「持ち直しのテンポが緩やかになっている」

（9期ぶり下方修正）

観光：外国人観光客の増加により、緩やかに回復している。

スーパー：飲食料品は堅調であるものの、衣料品が弱い動きとなっていることから、全体としては底堅いものとなっている。

コンビニエンスストア：米飯類や飲料等に動きがみられるものの、買上点数の減少などから、全体としては底堅いものとなっている。

生産活動



「一進一退の状況にある」

（4期連続据え置き）

汎用・生産用機械：部品不足などにより一部に弱さがみられることから、持ち直しのテンポが緩やかになっている。

食料品：外食産業向けなどの堅調な需要を背景に、緩やかに持ち直している。

非鉄金属：堅調な需要のなか、原材料仕入れの正常化により回復しつつある。

雇用情勢



「緩やかに持ち直している」

（7期連続据え置き）

有効求人倍率：横ばいとなっている。

法人企業景気予測調査：従業員数判断 BSI をみると、6月末は全産業で 36.6%ポイントと「不足気味」超となっている。

【問い合わせ先】

四国財務局 財務広報相談室

TEL087-811-7780(内線：260)

四国財務局 経済調査課

TEL087-811-7780(内線：250)